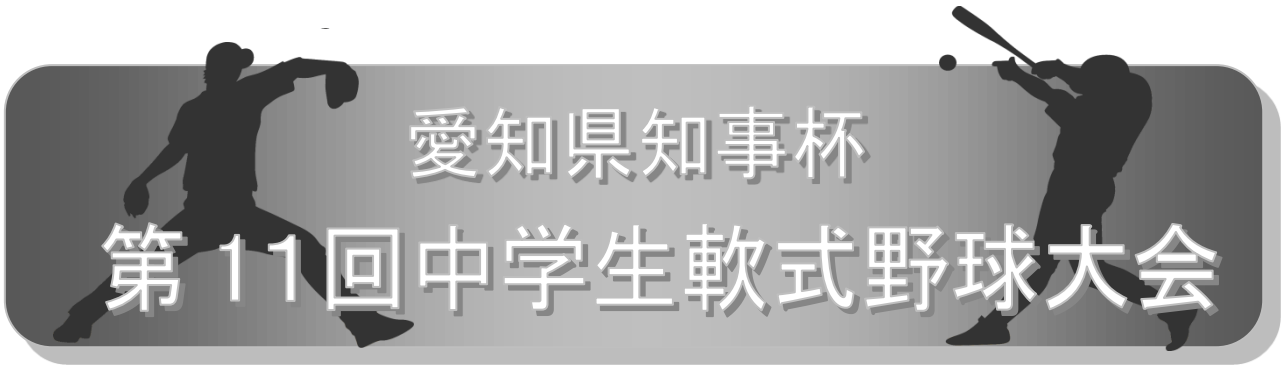


1　目　　的

この大会は、中学生に広く軟式野球実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図るものである。

2　主　　催

愛知県軟式野球連盟

3　主　　管

愛知県中学生軟式野球連盟

4　後　　援

愛知県　　（一財）愛知県高等学校野球連盟　　中日新聞社

5　協　　賛

ナガセケンコー株式会社　Ｐ＆Ｐ浜松　株式会社アドキャスト　株式会社サンフォレスト　他

6　会　　期

１１月　7日（土）・　8日（日）・　14日（土）・　予備　15日（日）

○1日目　　<いちい信金スポーツセンター>　１・2回戦　9試合

○2日目　　<いちい信金スポーツセンター>　準々決勝　４試合

○3日目　　<いちい信金スポーツセンター>　準決勝・決勝　3試合

7　会　　場

いちい信金ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ　〒491-0804　一宮市千秋町佐野向農756　<TEL 0586-77-0500>

8　参加資格

（1）選手は、愛知県の中学校に在籍する生徒。

（2）年齢は、平成２4年（２０１２年）４月２日以降に生まれた者に限る。

（3）愛知県軟式野球連盟の地区ブロック割（中学）に準じて、理事会および各支部代表理事の推薦を受けたチームとする。

（4）登録人数は２５名までとする（主将の背番号は１０番）。ベンチ入りできる指導者は部長または責任者、監督、コーチ２名、マネージャー１名、記録員１名の最大計６名とする（監督は３０番、コーチは２９番、２８番の背番号をつける）。

（5）個人情報の取り扱い（利用目的）

会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、これを適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手はこれに同意する。

9　競技規則
（１）２０２６年公認野球規則に準ずる。
（２）使用球は、（公財）全日本軟式野球連盟公認M号球（ナガセケンコー）とする。
（３）その他の使用器具は、（公財）全日本軟式野球連盟公認のものとする。
（４）投手の投球制限については、肘・方の障害防止を考慮し、下記のとおりとする。
・大会中の１日の投球数…１００球
※試合中に１００球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

１０　競技方法
（１）各地区代表の　　チームによる全試合トーナメント方式で行う。
（２）各試合７回戦、ただし８０分を超えたら新しいイニングに入らない。
（３）得点差によるコールドゲームは、５回７点差以上を適用する。また、天候不順によるコールドゲームも適用する。
（４）８０分を超えたイニングまたは７回を終了しても勝敗が決しない場合は、特別延長戦（無死１・２塁、継続打順、決着するまで繰り返し）を行う。
（５）その他２０２６年（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携に従う。

１１　審　　判
愛知県中学生軟式野球連盟審判部を中心に行う。

１２　表　　彰
（１）優 勝 校：賞状・優勝杯（優勝杯は持ち回りとし、翌年の大会で返却、レプリカを受け取る）
（２）準優勝校：賞状・準優勝楯（準優勝楯は持ち回りとし、翌年の大会で返却、レプリカを受け取る）
（３）第３位校：賞状

１３　参 加 料
（１）参加料は、各チーム　１０,０００円とする。
（２）大会当日に持参して納める。

１４　監督会議
代理抽選とする。

１５　そ の 他
（１）開会式は行わず、閉会式のみ行う。
（２）参加チームは「選手紹介」を作成（ホームページよりダウンロード）し、１１月1日（日）までに事務局（松井）宛に送信する。

HP：http://aichi-nanshiki-2014.net　　送信先：t.matsui.11aichi@gmail.com

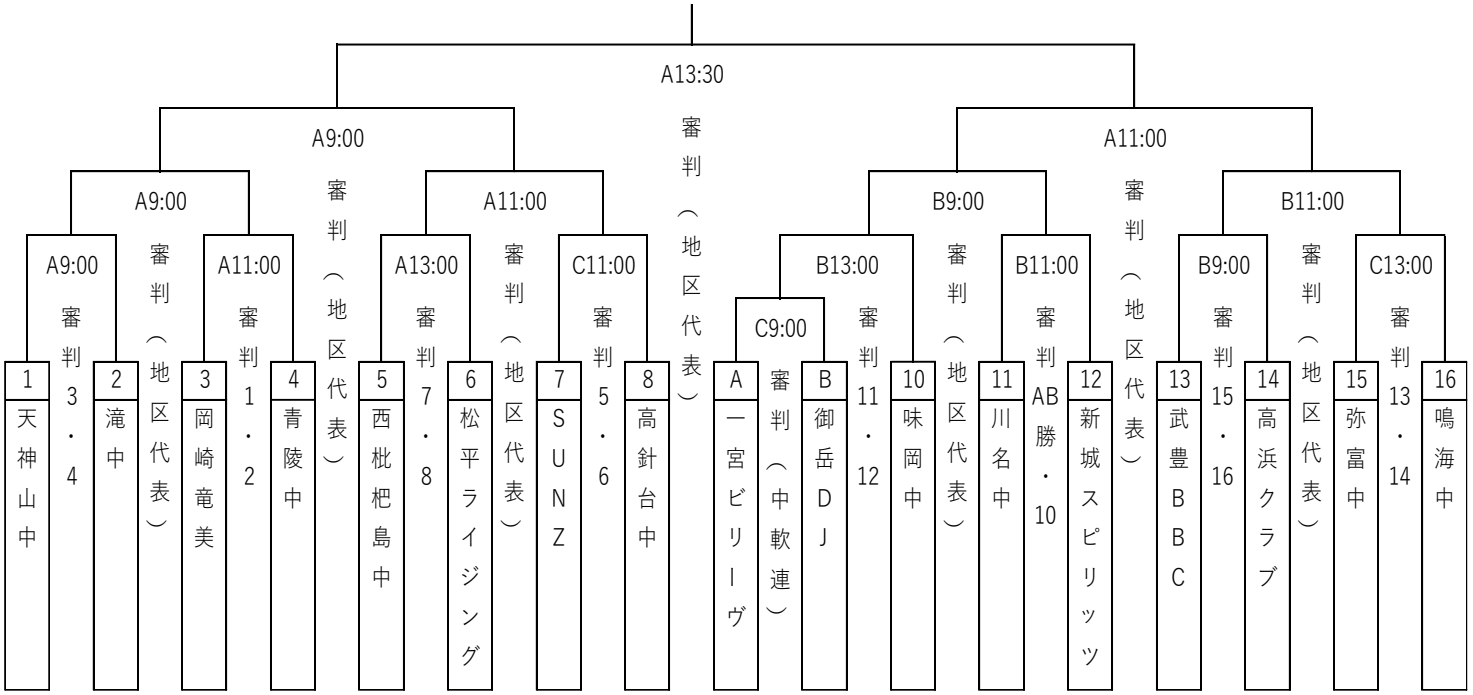
（３）大会優勝チームは、令和９年３月下旬に埼玉県で開催される「政令指定都市中学生野球大会」（主催：さいたま市野球連合会）の出場権を得る。
（４）雨天順延とする。試合を行うか否かの確認は、各チームが試合当日午前６時以降に行う。

（５）問い合わせ先　　大会事務局　　℡ 090-6582-9880（中元）

大　会　日　程

会　　期：令和　8年　11月　7日（土）・　8日（日）・　14日（土）・予備　15日（日）
監督会議：なし

	競技第１日目 11月　7日（土）	競技第２日目 11月　8日（日）	競技第３日目 11月14日（土）	予備日 11月15日（日）
いちい信金スポーツセンター　A	２回戦　9：00 11：00 13：00	３回戦　9：00 11：00	準決勝　9：00 11：00 決　勝　13：30	準決勝　9：00 11：00 決　勝　13：30
いちい信金スポーツセンター　B	２回戦　9：00 11：00 13：00	３回戦　9：00 11：00		
いちい信金スポーツセンター　C	１回戦　9：00 ２回戦　11：00 13：00			



＜試合進行について＞

① 1 回戦は相互審判となりますので、両チームで話し合って審判員を決めてください。（３審または４審）
※各チームは試合当日までに審判要員を必ず確保しておいてください。
② 各チームは投手の投球数をカウントしてください。
③ ベンチの速やかな入れ替えにご協力ください。
④ 試合終了後は、勝った方のチームでグラウンド整備をお願いします。
⑤ 本大会は競技スポーツであると同時に「教育の場」でありますので、各選手団は礼節のある言動にお努めください。

大　会　役　員

大会名誉顧問	愛　知　県　知　事		大　村　秀　章
大会会長	愛知県軟式野球連盟	会　長	大　森　輝　英
実行委員長	愛知県中学生軟式野球連盟	理事長	森　山　正　実
実行副委員長	愛知県中学生軟式野球連盟	副理事長	八　幡　章　雄
競技委員長	愛知県中学生軟式野球連盟	常務理事	中　元　一　雄
競技副委員長	愛知県中学生軟式野球連盟	専務理事	松　井　智　章
競技委員	荒　川　将　吾	三　山　直　彦	鈴　木　良　太
	太　田　智　司	杉　浦　幸　雄	兼　子　伸　介
	亀　蔦　誠　一		
審　判　長	愛知県中学生軟式野球連盟	審判部長	下　平　　敦
審　判　員	愛知県中学生軟式野球連盟審判部		

閉　会　式

日　時：令和　8年　11月　14日（土）
会　場：いちい信金スポーツセンター野球場
1. 来賓・役員・選手　整列
2. 成績発表
3. 表彰
4. 主催者あいさつ
5. 解散

競技上の規定及び留意事項

1　大会特別規定

1．２０２６年度　野球規則による。

2．ユニホームは同じものを着用し、背番号をつける。主将は１０番とし、登録人数は２５名までとする。

3．監督は３０番、コーチは２９番、２８番の背番号をつける。ベンチ入りできる指導者は部長または責任者、監督、コーチ２名、マネージャー１名、記録員１名の最大計６名とする。

4．試合は７回戦とするが、８０分を超えたら新しいイニングに入らない。なお、それでも勝負が決定しない時は、継続打順による特別ルールを行う。（やむを得ず試合を中断する場合は、本部でタイマーを止める。ただし、不要なタイムや遅延行為は慎む。）

※特別ルール・・・前回の最終打者を一塁走者、順次前の打者を二塁走者として無死１・２塁の状態で１イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で繰り返すこととする。（試合終了時の得点表示は、特別ルールの回を含めた合計得点とする。）

5．得点差によるコールドゲームは、５回７点差以上を適用する。また、天候不順によるコールドゲームも適用する。

6．２０２６年度公認野球規則５．１１に基づいて、DH制を導入する。本大会でDHに関しては、投手以外の野手の代わりでもよい。ただし、DH制をはずした時点でDHは消滅する。なお、DHは各チーム１枠までとする。

7．投手の投球制限については、肘・方の障害防止を考慮し、下記のとおりとする。

・大会中の１日の投球数…１００球

※試合中に１００球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

2　競技上の留意事項

1．大会参加選手の引率を徹底して行うこと。大会参加選手の引率は、各チームの責任者が行い、試合開始予定１時間前までに到着すること（ただし、交通事情等により遅れる場合は、必ず連絡をすること）。

~~2．先発メンバーのみを記入したオーダーを本部に提出すること。~~

3．メンバー交換時に先攻と後攻を決定する。

4．メンバー表を４部提出する。第１試合は開始３０分前に、以後は前の試合の４回終了時および試合開始５０分後をめどに、それぞれ監督および主将が本部席へ提出する。

5．大会使用試合球は、ナガセケンコーM号球とし、本部が用意する。

6．ランナーコーチは背番号３０（監督）以外の背番号を付けている者が行う。

7．ベンチは組み合わせの若い番号を一塁側とする。

8．次の試合を控える先発バッテリーのブルペンでの練習を認める（４回以降、試合開始５０分を過ぎた直後のイニングの変わり目から）。その際、バッテリーは、ユニホーム着用のこと。捕手は防具をすべて着けるものとする。

９．シートノックは５分間とする。ただし、その日１試合目の試合前のみノックを行うこととする。
10．試合前の練習およびシートノックは選手２５名でおこなう。また、ノッカーへのボール渡し、及びバット引きは、ヘルメットを着用すること。
11．監督は必ずユニホーム（チームと同じもの）を着用すること。監督以外の者がノックをする場合、コーチは選手と同様のものまたは黒色の靴を履くこと。
12．スネの保護にならないハイカットのストッキングの着用を禁止する。
13．捕手は、プロテクター、ヘルメット、レガース、スロートガード、ファールカップを着用する。
14．打者、走者、次打者はヘルメットを着用する。(両耳タイプの物に統一する。)
15．リストバンド・バットリング・マスコットバットなどの使用を禁止する。
16．バッティング用の手袋の装着を認める。ただし、白または黒色の単色の物に限る。
17．変形した金属バットや硬式用の金属バットは使用しない。
18．金具の装着されたスパイクの使用を認める。
19．メガホンの使用は監督に限る。ベンチでの喫煙、サングラスの使用を禁止する。
20．突発事故が起きた場合（一時走者を代えたいとき）は、球審に申し出て、審判団が必要と認めたときは許可する。なお、頭部への死球については、必ず臨時代走を送る。（その場合、投手・捕手を除く、直前にアウトになった打順の選手）
21．投球練習は、初回・交代時は７球、イニングの初めは３球以内とする（ただし、時間の都合上短縮することがある）。
22．無用のタイムは慎み、試合進行に協力する。
（１）打者はみだりにバッターボックスをはずさない。
（２）投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートを踏んで見ること。
（３）タイムは１分間を限度とする。ただし、審判員が認めたときはこの限りではない。
23．以下のタイム回数はいずれも３回以内とする。延長戦は２イニングに１回とする。
①監督が投手のところへ行ける回数（投手交代の場合は回数に含まない）
②守備側のタイム（捕手または内野手が投手の所へ行く）の回数
③攻撃側のタイムの回数
24．規則８．０６（監督が投手のもとへ行く制限）を適用する。
25．規則３．０３（原注・投手は同一イニングで投手以外の守備位置に２度つくことは許されない）は適用しない。
26．審判員の宣告に異議を申し出ることは許されない。ただし、規則上の疑義については原則として監督および当該プレイヤーのみが質問することを許される。
27．ゲーム中、監督は次の場面以外、ベンチから出てはいけない。
（１）選手交代の申し出をする場合
（２）選手がけがをした場合
（３）審判員の宣告に対して疑義を申し出る場合
（４）タイムをとり、選手への指示を簡潔に行う場合（必要以上に行わない）
28．応援団は次の事項を守ること。
（１）紙吹雪・テープ・個人名の入ったのぼりなどの使用を禁止する。

（２）相手チームをやじったり、相手チームに不利を招くような応援をしたりしない。
（３）球場の構造物をたたいて音を出すような方法はとらない。
（４）鳴り物については攻撃時使用可とする。
（５）応援席周辺をちらかしたり、中学生らしからぬ行為をしたりしない。

29. 自軍ベンチ側のファウルボールは、速やかに拾いに行く。
30. 試合終了のあいさつで、すべて完了とし、速やかにベンチを空ける。
（相手ベンチへのあいさつは行わない。）
31. 本部席へは、大会役員・競技役員以外の入室を禁止する。
32. 天候不良の場合、ゲームの問い合わせは開始３時間前以降に行う。